

平成30年度
事業計画書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

平成30年3月17日

公益社団法人 日本網引連盟

平成30年度事業計画書

方針

今年度も財政立て直しを最重要課題とする。さらに、綱引競技の持つ魅力を多方面にアピールし、普及啓発活動を行いつつ国体公開競技参加と合わせて、競技人口の拡大、特にジュニア・ユース層の拡大を目指す。

目標

1. 財政確立

より多くの法人、個人に支援を要請し、各事業の経済性や合理性の見直し、経費の節約を適切に行い、自主財源の確保に努める。この際、綱引き関係者は一丸となって、各種コンプライアンス(法令遵守)に努める。

①公式サポーター制度による寄付金募集事業の展開

公式サポーターの募集により、一般と法人からの支援を受けて、事業に活用する。

同時に寄付金控除のメリットを活かし大口スポンサーの開拓につなげる。

②購買

今年度改訂するガイドブックの販売強化

③各登録料の納付期限厳守

競技者・審判員登録料、正会員費、加盟分担金

2. 選手強化

日本スポーツ振興センター(以下 JSC)助成金により、2020年の海外大会に日本代表チームが出場し、前回大会より上位進出を図る。

3. ジュニアユース発掘・指導者育成

JSC 基金助成金により、ジュニアユース大会を開催し、ジュニアユース層の掘り起こしを図る。また、競技の普及を図るため、都道府県連の関係者に対して公認スポーツ指導者講習会への参加を促す。

4. 医科学分野

医科学委員会を中心に、選手強化と個々のコンディショニング管理を進め、チーム強化を図る。

5. アンチ・ドーピング活動

JSCくじ助成金により、アンチ・ドーピング検査を年1回行う。また、全日本大会ベスト 16 のチームを対象にアンチ・ドーピング講習会を行う。

公益目的事業(公1) 綱引の普及啓蒙事業

1. 国内外競技会の開催

月 日	競 技 会	会 場	備考
7/1	第16回西日本綱引選手権大会	大分県別府市べっぷアリーナ	主催
8/5	2018全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会	駒沢オリンピック公園 体育館	〃
8/19	第8回全日本綱引フェスティバル	東京都中央区総合スポーツセンター	〃
9/22～23	福井国体公開競技	福井県勝山市・勝山市体育館	〃
10/14	第23回東日本綱引選手権大会	群馬県前橋市市民体育館	〃
10/28	2018全日本男女混合綱引大会	ウイंक体育館 (兵庫県姫路市立中央体育館)	〃
平成31年3月3日	2019全日本綱引選手権大会	駒沢オリンピック公園 体育館	〃

① 新規公認審判員の認定

新規 A 審判員育成と AA 審判員へのスキルアップを図る。

② 公認スポーツ指導者育成講習会

チーム指導者、競技者等を対象に、講習会を開催、情報の共有化と綱引指導者のネットワークを拡げていく。尚、この研修会は(公財)日本体育協会の委託事業である。

③ 中央研修会の開催

審判員、指導者、競技者を対象に競技規則の共通認識と審判技術の向上、競技者への理解促進を図る研修会を、技術審判委員会を主体として開催する。

④ AAA 審判員認定講習会及びスキルアップ研修会

新規 AAA 審判員認定講習会の開催と AAA 審判員を対象に技術の更なる向上と組織拡充策を練る研修会を実施する。

⑤ アンチ・ドーピング教育

2018 全日本大会ベスト 16 の男女各チームに対して、アンチ・ドーピング講習会を実施する。

⑥ リーグ戦の検討

今後の競技会の方向性として、ブロック内でのリーグ戦という方式を行うための検討会を持つ。チーム代表者、公認スポーツ指導者等から意見を聞き取り、まとめる。

⑦ 綱引競技ガイドブック 2018 年版の発行。

⑧ 競技者登録証、審判員登録証を含め電子化を探る。

⑨ 広報事業

年間を通して定期情報誌を発行し、HP・Facebook をより充実させ、効率の良い情報提供を行ない、普及啓蒙していく。

⑩ 伝統文化継承活動

全日本男女混合綱引大会を、伝統文化としての綱引という見地から広く一般に普及啓発していく。

【予定】

8/4	公認スポーツ指導者専門講習会Ⅰ	駒沢オリンピック公園 体育館
10/13	中央研修会	群馬県前橋市市民体育館
10/27	中央研修会	兵庫県姫路市立中央体育館
10/20・21	公認スポーツ指導者専門講習会Ⅱ	国立オリンピック記念青少年総合センター
12/1・2	公認スポーツ指導者専門講習会Ⅲ	岸記念体育会館・国立オリンピック記念青少年総合センター

以上